



ヨゼフ アベイヤ 司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部70円

10月の意向
【福音宣教】 宣教に向かう弟子たち
【日本の教会】 日常生活における宣教
教皇様の意向のために祈りましょう


2021年 世界宣教の日 福音を証しし、宣べ伝える

キリスト者として「福音を宣べ伝えなければならない」という使命を、分かつてはいても、身内や親しい人々にさえ伝えることが難しいと悩む人はきつと多いことだろう。今年の世界宣教の日のテーマは「わたしたちは、見たことや聞いたことを話さないではいられない」。イエスと出会ったペトロとヨハネは「話さずにはいられなかった」のである。どうしたら私たちもペトロとヨハネのように宣教に駆り立てられるようになるのだろうか。アベイヤ司教のメッセージとともに、最後の4つの提案を黙想しながら、宣教について考えてみたいと思う。

10月は福音宣教の月です。特に10月の最後から2番目の日曜日は「世界宣教の日（献金）」と定められています。教皇様は、毎年メッセージを発表され、皆に福音を証しし宣べ伝える使命を思い起こさせられます。

今年の教皇メッセージのテーマは、「わたしたちは、見たことや聞いたことを話さないではいられないのです」となっています（メッセージ）。全文はカトリック中央協議会HPに掲載。使徒言行録4章20節で伝えられているペトロとヨハネのことばです。確かに福音宣教への取り組みは、イエスとの出会いの体験から生まれてくるものです。「全世界に行つて、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」（マルコ16:15）とイエスに言われた弟子たちに出発したことはまさにこれでした。イエスと一緒にい

訃報 ライモンド田中健一 京都教区名誉司教



2021年7月29日(木)、誤嚥性肺炎のため、愛媛県宇和島市内の病院にて帰天。享年93。
【略歴】
1927年 愛媛県宇和島に生まれる
1951年 高松にて司教叙階
1958年～海外留学を経て、大阪教区内にて司教
1964年～高松教区内にて司教
1976年 京都教区司教叙階
日本司教協議会 諸宗教対話、交流、協力を担当
1997年 京都教区司教引退、京都教区名誉司教となる。

10月24日(日) 世界宣教の日・献金

世界にはまだキリストを知らない人がたくさんいます。日本でもわたしたちはキリストを知らない人たちに囲まれて生きています。キリストを伝えることである宣教は、神の子ども、キリストの弟子となつたわたしたち皆に与えられている使命です。「世界宣教の日」は、すべての人に宣教の心と呼び起こさせること、世界の福音化のために、霊的物的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進することを目的としています。この日の献金は、各国からローマ教皇庁に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られます。日本の教会は、いまだに海外から多くの援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。

現代において福音宣教の使命を与えられている私たちが、どう応えているでしょうか。私自身は、「見たことや聞いたことを話さないではいられない」と言える者になり

た時に、イエスから聞いたことばの中から心に強く響いたことばを伝え、自分にとつてそのことばがもたらした慰め、励まし、問いかけ等を分かち合うことだつたでしょう。あるいはイエスと一緒にいながら、イエスの人々との関わり方を見て感動を覚えた場面と、そこから学んだことを伝えることだつただろうと思えます。使徒言行録に書かれているように「私たちは、見たことや聞いたことを話さないではいられないのです」ということばを通して、福音宣教の基本が示されています。「見たこと」「聞いたこと」を伝えることです。イエスとの出会いの中で与えられたものは、一人ひとりの弟子にとつて忘れることのできないものでした。「話さないではいられない」というペトロのことばはこれを表しています。

八代の殉教者の一人である福者ヨハネは、自分の小さい息子に「どうしてお父さんの友達は、貧しい人々や病人なのだろうか。普通は人々は偉い方の友達になりたいのに」と聞かれたときにこう答えました。「私もよく分らない。ただ、毎日神への約束を守る恵みを祈っている間に、貧しい人々や病人の友達になつていきました」と。心の中に生きていた福音を自然に生活の中で証しされたのです。このように生きるしかありません。このように生きるしかありません。このように生きるしかありません。

最後に皆さんに簡単な提案をします。次の4つの質問に、祈りながら答えてみてください。
(1) 福音を他の人に伝えたいと思つたことがありますか。
(2) 誰にですか。
(3) そのために何が大事だと思ひますか。
(4) 何が妨げになるのでしょうか。

イエスとのつながりが深まっていけばいくほど、答えははつきりしてきます。福音宣教は、イエスを信じる心から生まれて来るものです。人を活かし、希望と慰めを与え、愛するように導くイエスの福音を証しし、宣べ伝える行く知恵と力を祈りたいものです。

福岡教区・教区長
ヨゼフ アベイヤ

平和を祈る集い



福岡地区信徒使徒職協議会では2年振りに、「平和を祈る集い」を「平和に貢献する教会を目指して―平和を求めて祈り、行動する」のテーマで8月9日(月・祝)にカテドラル大名町教会で開催しました。昨年よりコロナ感染症が収まらない中で教会では様々な活動がストップしていた状況であった。では、開催するためにどのような事が必要なのか。何度も模索検討を重ねながら準備を進めた。結果、コロナ感染症予防対策を実施の上で来場者数を制限、YouTubeでのライブ配信等、初めての試みでの開催となった。ご協力いただいた関係各方面の多くの方々には心より感謝申し上げます。(当日の配信画像は現在でも教区公式YouTubeで視聴可)

当日のアンケート回答の中に、「あきらめないこと、できることを実行すること、神

からいたいた恵みに気づくこと、感謝すること」と書いた人がいた。近くアベイヤ司教より福岡教区の宣教司牧方針が示されると聞いています。厳しく困難な現実の中で生きる私たちが、その宣教司牧方針を実現していくために、平和の担い手として、そしてキリスト者として、どのように働くのかを福岡地区信徒使徒職協議会でも検討し、実践を図っていききたいと思う。

福岡地区信徒使徒職協議会
会長・青木篤孝(高宮教会)

世界宣教の日にあたり、私たち個人として、また、共同体としての召命についてもう一度考えてみたいと思ひます。イエス様は弟子たちに、「全世界に行つ

が、まだ世界にはキリストを知らない人やキリスト教が文化の中に受容されていない国がたくさんあります。日本もその一つであり、私たちはキリストを知らない人たちに囲まれて生活しています。日本でキリスト教が大きな流れにならないのは何故なのでしょう。

時の話題

世界宣教の日に向けて

「世界宣教の日」にあたり、私たち個人として、また、共同体としての召命についてもう一度考えてみたいと思ひます。イエス様は弟子たちに、「全世界に行つ

が、まだ世界にはキリストを知らない人やキリスト教が文化の中に受容されていない国がたくさんあります。日本もその一つであり、私たちはキリストを知らない人たちに囲まれて生活しています。日本でキリスト教が大きな流れにならないのは何故なのでしょう。

みちくさ

問もなく、暑い日が遠ざかり、涼やかな日々を迎えるようになる。季節は巡り、人も様々な影響を受けながら人生を歩んでいく。性格上、速く歩む人、小走りになる人、ゆっくりと歩む人、いろいろである。中には、人の人生に介入したり、まったく無関心を装ったりする人もいる。「徳は中庸にあり」とか言う。「過ぎたるは及ばざるがごとし」ともある。行き過ぎず、遅滞せず、「何事もほどほどに」である。また、自己主張が強い人もいる。自己防衛のためか、人の気持ちも推し量れず、意見も聞かない。高圧的で、自分の気持ちを抑えきれない。自分だけが正しいかのようになり、口角を飛ばす。まるで母親にねだるときの子どものようだ。相手はその性格を見抜き、距離を置きながら対応する。寛い心を持ち、協調性があり、愛で包んでやれる人になれたらと思う。イエスの例え話の「放蕩息子」の主人公は「やさしいお父さん」であるのだが、わがままな息子の性格を知りつつ、本人の気持ちを大事にしなが、関わってくれた父親。忍耐力と思いやりで長けた父親。寛大さと受容性に富んだ父親。息子を責めず、息子の過ちを赦す父親。そんな人になれたらと思う。▼10月は「ロザリオの月」。聖母マリアも世の子ども達のためにいつも祈り、見守ってください。その胸の内はいかばかりだろうか。世界中にはいろいろな人がいる。私も私たちがその中の一人として、母なるマリアと共に神に祈ろう。世界中の人がお互いを尊敬し合い、助け合い、救いのために協力し合うことが出来ますように。(S)

アベイヤ司教 教区内司牧訪問

1年をかけた、全ての小教区へ出向くヨセフ・アベイヤ司教の司牧訪問も残すところ8小教区となった。今回は、北九州地区からの報告をお届けする。

小倉教会



解体前の最後の小倉教会聖堂にて

蝉しぐれの降りしきる7月24、25日の両日、アベイヤ司教は小倉教会を訪問した。聖堂建て替えの計画が進む中、ちょうどその日は解体前の最後のミサ。説教で、病人を癒すイエスの姿を見た少年が、素直に自分の手にあつた5つのパンと2匹の魚を捧げたように、私たちも福音に触れ、イエスに出会うならば、自然と愛といつくしみのわざを行う者となれるはずだと、司教は信徒を鼓舞された。

アベイヤ司教の笑顔とユーモア溢れる言葉に接し、心に大きな安らぎを得た。また、訪問に合わせ6人の信徒が喜びのうちに、アベイヤ司教の司式により堅信の秘跡を受けられたことはこの上ないお恵みであった。

若松教会



堅信の秘跡に与り晴れやかな子どもたち

新聖堂も「福音の光を灯すしるし」であるために「出向いていく教会であつて欲しい」「一緒に歩んでいきたい」、そのような司教の願いはその言葉として響く司牧訪問であった。

飯塚教会

報告II船津亮太神父(報告II船津亮太神父) 飯塚教会 飯塚聖母幼稚園の園児たちと素朴な質問に対しても丁寧な答えをもらい、園児たちほども喜んでいました。

また教区報7月号の「おしえて!司教さま!!」欄では、飯塚聖母幼稚園の園児たちの素朴な質問に対しても丁寧な答えをもらい、園児たちほども喜んでいました。

アベイヤ司教の笑顔とユーモア溢れる言葉に接し、心に大きな安らぎを得た。また、訪問に合わせ6人の信徒が喜びのうちに、アベイヤ司教の司式により堅信の秘跡を受けられたことはこの上ないお恵みであった。

アベイヤ司教の笑顔とユーモア溢れる言葉に接し、心に大きな安らぎを得た。また、訪問に合わせ6人の信徒が喜びのうちに、アベイヤ司教の司式により堅信の秘跡を受けられたことはこの上ないお恵みであった。

『父の心で』に示した聖ヨセフは、多くの人の心に影響を与えました。しかし、その影響はやがて終わっていく「聖ヨセフの年」と共に消えるのでしょうか。きっと、それは人の中でこだまとなってまでも響き、聖ヨセフの役目は終わらないでしょう。困難に合う時、危機の悩み、そして将来への不安に対し、神はこの聖人を通して奇跡によって応えられる、と教皇フランシスコは強調しています。

現在、人類はあらゆる危機に直面しています。実際に、これは人間、すなわち私たち一人ひとりの心や人生の危機、不足、弱さなどの総まとめです。ある奇跡的な変化をあからさまに期待する人はいます。しかし、自分の心や生き方を変えないと、この世で何も変わらないということです。その課題が私たちの力を超えるので、神は摂理によって聖ヨセフを助けに送ってくださいます。

【聖ヨセフにまかせましょう】

D・アルピン神父(馬渡島・呼子教会)



今こそ「聖ヨセフの時が来た」と、『父の心で』の多くの読者が感じています。聖ヨセフが改めて神に呼ばれ、この世に遣わされているかのようです。今度はイエスとその母マリアを直接に守るためではなく、現代の人の信仰、希望、愛を支え、多くの人の人間性も魂をも救い、この世に助けをもたらすためです。

ヨセフは、「神への信仰をもつということは、私たちの恐れ、もろさ、弱さを通して神は働かれると信じることを含むのだ」と教えてくれます。また、人生の嵐の中にあつても、私たちの船の舵を神にゆだねることを恐れてはならないと教えます。時に私たちはすべてをコントロールとしようとして、主はつねにより広い視野を持っておられます。「その広い神の視野で聖ヨセフが見る」と教皇フランシスコは私たちに耳打ちするのです。

いつの時代にも、聖ヨセフを愛した信者たちはその近くにいて望むのです。私たちも、限界があつてもこの聖人と親しい絆を結びましょう。その愛情の眼差しのもとに「私たちそれぞれの人生は、福音が語ることに従って生きる勇氣を見いだすならば、奇跡のように再び動き始めるのです...神は岩間にも花を咲かせることができになります」(『父の心で』)と教皇は強調するのです。

つまり、『父の心で』を通して今、あらゆる困難に立ち向かう私たちが歩むべき道を聖ヨセフと共に挑戦するように教皇フランシスコは励ましています。これこそ将来への信仰の道です。(今回が最終回です)



アベイヤ司教と記念の集合写真

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

8月8日(日)、台風9号が近づくと、コロナ禍で延期されていたアベイヤ司教の若松教会訪問が実現し、司教の司式でミサが行われた。コロナ禍において2度の延期となつてきたため、信徒一同、待ちわびた集いとなつた。

ミサの中で司教は「預言者エリヤ」の話を通して神の愛と慈しみに通して話をした。日本語も上手で大変聞きやす

く、その言葉の一つひとつが心に染み渡るようであった。色々な話の中で特に、宣教司牧、奉仕については、司教が決めた事について行くのではなく、みんなの意見を集めて良いことを進めていく、前に目を向けて進むことが大切だと強調していた。

司教自身72歳で、あと3年したら引退届けを出さないと決まるといふ決まりがあることも語り、その間に、各小教区の様々な委員会を整理・縮小し、限られた人数の中で必要最小限の委員会で機動的な運営ができるのが望ましいとの考えも示し、各小教区の高齢化、若者の教会離れで委員会があつても同じ顔ぶれになつている現実を心配していた。

福岡教区でいえば、1999年に糸島教会が出来て以来30年もの間、新しい教会が建設されていぬ事も含め、福岡教区百年の節目に、改めて司祭や修道者、信徒がルールを守りながら意見を述べ、合意案を上へ挙げていくことや、人を引きつける力を持つ必要性を語つた。また入門講座にしても、入門と書かれていても、未信者にとつては、即、入信させられると思ひ込み敬遠されがちになるので、従来のやり方を変えていくことも大事だと話した。

最後は司教を囲み記念撮影があり、良い思い出の一枚となつた。信徒一同、喜びと恵みの時間をいただいた司牧訪問であった。

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

アベイヤ司教と記念の集合写真 (報告II若松教会広報担当)

カトリック古賀教会 納骨堂のご案内
カトリック古賀教会内に3年前に建設された、比較的新しい納骨堂です。年に1度、主任司教による慰霊祭も執り行われております。取得費用は、下記の通りとなります。1区画 ¥300,000(別途、管理料等がかかります)
詳しい資料、見学等のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
カトリック古賀教会
住所: 福岡県古賀市花見東2丁目23-1
電話: 092-942-2171

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山 森山 森山 森山
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOUEEN)
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

人生の多感な時を過ごすこの時代。学業と信仰教育の結びつきについて、その様子や課題などを現場から月替わりでご寄稿いただく「ミッションスクールの今」。第4回は熊本県熊本市にある熊本マリスト学園中学・高等学校に話を伺った。

熊本マリスト学園中学・高等学校 (熊本県熊本市)

熊本マリスト学園は、カトリックのミッションスクールとして、校訓「信・望・愛」のもと、将来有為な社会人となる若者を育む学校として1961年(昭和36年)4月に、ここ熊本市健軍の地に開校しました。本学園の高校部を単立していった卒業生は、1万人を超えています。創立以来の伝統である文武両道に邁進し、良き校風を創り上げ、現在は日本国内はもとより、世界各地の各界・各分野で目覚ましい活躍をしています。

開校以来、男子の中高一貫校として歴史を積み重ねてきた本学園は、時代の流れに対応し、2000年(平成12年)には男女共学となり、現在は中学生約130人、高校生約550人、合計約680人の生徒が学んでいます。

本学園の設立母体であるマリスト教育修道士会創立者、聖マルセリン・シャンパニア神父は、1789年、フランス革命の年に、フランスのリヨン近郊の小さな町で生まれました。革命による社会の混乱と不安、さらには、ジャコバン党の恐怖政治の下で、教会組織の徹底的な破壊が続きました。1817年、カトリックの司祭になっていたシャンパニア神父は、この状況を憂い、将来のフランスを担う青少年を育成するために、数名の仲間と共にマリスト教育修道士会を創立しました。創立の目的として、シャンパニア神父が仲間の修道士たちに示した、「家族愛のもと、いかなるときも理性を持って堅実に思考し、正しく行動する有為な社会人を育てる」という考えが、現在では、世界70か国に約700校存在するマリスト校の教育理念となっています。

～卒業式～涙と感動



本学園は、校訓「信・望・愛」の実践目標として、「他者の幸せのために生きるマリスト生の育成」を教育スローガンにしています。このスローガンは、前校長(現理事長)の岩永利晴先生が校訓を分かり易い具体的な言葉で表現されたものです。他者のための行為によって「あなたの中に私は私の価値を見つけ、私の中にあなたはあなたの価値を見つける。」自分の価値を見出すのが自分の中ではなく、誰かの中であり、それが他者と自分に対する慈しみの精神であるという考え方で、現在でも本

学園ではこのスローガンが生徒・職員の間で頻りに交わされています。

また、この精神を日常のあらゆる活動の指針としてより具体的に共有するために、2020年度(令和2年度)にマリスト学園「ルーブリック」を設定しました。ルーブリックとは行動目標を設定し、達成度を生徒自身が自己評価する評価規準のことです。

「価値観」としての①向上心、②重来の精神(「捲土重来」(けんどちようらい) = 「一度敗れたものが、再び勢いを盛り返すこと」より、本校での定義は、「あえて困難な道を選ぶ」と「自ら工夫して問題を解決する」と設定している)、③他者貢献、④関心の目、⑤祈り、そして「スキル」としての①思考力、②判断力、③表現力、④人間関係力。以上9つの習得目標について段階的に自己評価ができるようになっています。

これからも、カトリックの精神を根底に据えて、予測が困難な未来をしなやかに、逞しく生きていける生徒の育成を目指して教育活動に邁進いたします。よろしくお願いたします。(校長 松山 秀峰)



九州青年キャンプ「ひとつになろう」 オンラインならではの取り組みと恵み

先日、大分教区主催の九州青年キャンプにオンライン参加しました。現在、全国的な青年行事(ネットワークミーティング等)もオンラインで行われていますが、2日間(8月28日、29日)に渡ってのオンライン行事に参加するのは初めてでした。

今回のプログラムで印象的だったのは、大分教区の比較的年齢の近い3人の神父様の講話をお聞きすることが出来たということです。日頃はなかなか他の教区の神父様のお話をお聞きすることがないため、貴重な経験でした。特に、「宣教」というテーマについては、一般的に私たちがイメージする、いわゆる「勧

誘」のようなものだけが宣教ではなく「食事の前に十字を切る」「カトリック信徒であることを表す」だけでも宣教といえるという話が、自分の中にはなかなか無い考え方があったため、とても考えさせられました。

オンラインでの分かち合いは、話し出すタイミングが難しいなど課題もありますが、同年代の人と真剣に語る機会が失われていたこともあり、自分の意見をアウトプットすることで、自分の想いを再確認することができました。また、私は青年キャンプで行うミサが一体感があってとても好きなのですが、今回はオンラインでデゼの祈りを行って



みのり豊かなオンラインキャンプ

くださり、離れていても近くにいるような感覚で祈ることができました。加えて交流会の時間も用意してくださっており、楽しい時間となりました。大分教区の皆さんの、入念な準備に心から感謝いたします。

林田明日香(大名町教会)
今回の開催は福岡教区。今回の開催に皆さん楽しんでいただけた九州青年キャンプにしていきます。

中高生のための集い mini FYCC 集まれ!羽ばたけ!!若いうばさ

今年もコロナウイルスによって様々なイベントが開催出来ない中、毎年夏に開催している中高生を対象としたFYCC(福岡ユースカトリックキャンプ)も同じく開催を諦めました。ただ中高生に他小教区の同世代の仲間達と楽しく繋がる場所、神様を感じられる時間を準備したい!と有志の青年達が集まり、リモート会議しながら決定したのが mini FYCCです。

企画を3回、8、9、10月に開催する事を決めました。テーマは「出逢い・再会・分かち合い」。これまで私達は、FYCCを通して様々な仲間と出逢い、共に祈り、共

に遊び、共に食卓を囲み、共に語らう中で互いの信仰を高めてきました。コロナ禍で出逢いや繋がり機会が少なくなっている中、今出来る方法で共に楽しい時間を過ごせたらと思います。しかし8月の第一回大名町教会での開催は緊急事態宣言の為に延期になりました。



2019年の集合写真。来年こそぜひ開催!

2回目は9月26日にオンライン上で繋がるNOONにて、アベイヤ司教様の中高生時代のお話等の講話や分かち合い、リモートならではのレクレーションなどを行い、実際には集うことが難しい人もそれぞれの場所から参加してくれました(この原稿を書いている今は、まだ準備中ですが、

☆回勅兄弟の皆さん
教皇フランシスコ
FRANCISCI
SACRI PONTIFICIS
LITTERARUM ENCYCLICARUM
FRATRELLI TUTTI
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM3時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

被災聖母像を教会の柱に安置 地震の記憶を次の世代に



被災の聖母マリア像
熊本地震被災の聖母マリア像(2016年4月14日、熊本県熊本市)。

熊本地震で被災した聖母マリア像の頭部が教会外側の柱に取り付けられ除幕と祝福式が8月15日、健軍教会(主任 渡辺隆義神父)で行われた。

聖母像はもとともと聖堂内に安置されていたが、5年前に益城町を震源地とする本震で落下、頭部と胴体が分離されるという被害にあっていた。聖母被昇天のミサの後に信者たちが集まり、未だ仮設住宅などで暮らす被災者を思い、聖母の保護を願った。信徒会長の清田征一さんは「聖母像を災害遺産として安置できたことを嬉しく思います。熊本地震からの復旧・復興のため、多くの方々の励ましと支援があったからこそできました。」

母像を後世に残したいという信者の皆さんの熱意に配慮することができてよかったです」と渡辺神父は述べている。

カトリック中央協議会発行
税込価格1760円

和田墓地 納骨式



福岡教区和田墓地納骨堂2号館下に新しい共同奉安室が完成した(2021年5月9日、奉安室72室、骨壺600個以上)。しかしながら緊急事態宣言、まん延防止などコロナ禍でなかなか祝別式を行うことが出来なかった。

そのような中で、教区長ヨゼフ・アベイヤ司教、福岡地区長・十時伸治神父、福岡教区和田墓地担当司祭・杉原寛信神父と共に8月1日16時から祝別式を行うことが出来た。祝別式には小教区担当委員も10人参加して一緒に祈りを捧げた。新しい共同奉安室の祝別後には、司教が2号館の各奉安室、次いで1号館の各奉安室を祝別した。式の後には、司教に納骨堂管理委員の自己紹介を行うなど、少しだったが談話の時間を持つことが出来た。(報告=納骨堂管理委員・豊島司)【共同奉安室の使用については現在規約を作成中である。】

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

一聖パウロ女子修道会からのお知らせ
このたび、2022年4月17日をもって書院・セント・ポール FUKUOKA を閉鎖する運びとなりました。今後は東京・本部よりこの地域の宣教に努め、人びとの必要に即ちそう応えられるよう力を入れてまいります。
なお、閉店までの期間、福岡教区における聖パウロ女子修道会70年の歩みと皆様への感謝の気持ちを込めて、いくつかのイベントを計画しております。これにつきましては、追ってお知らせ致しますので、その際にはお立ち寄りいただけましたら幸いです。
福岡教区からの歩みと皆様お一人おひとりの上に、神様の豊かな祝福と導きを心よりお祈り申し上げます。
2021年9月 吉日
聖パウロ女子修道会 管区長 井出 昭子

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM3時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

ともに歩み 支えあっていく共同体



～2023 シノドスへの歩み～

開幕ミサ

～ともに歩む教会のため～ 交わり、参加、そして宣教

2023年10月開催のシノドス(世界代表司教会議)第16回総会へ向け、2021年10月10日にローマで教皇様はシノドスの開幕ミサを行われます。シノドスの歩みへ、全てのカトリック信者の参加を呼び掛けておられる教皇様は、2021年10月17日に全世界の各教区でも開幕ミサを行うように定められました。福岡教区でも、全世界の教会と心を合わせて開幕式典を行い、交わり・参加・そして宣教としての教会の歩みに積極的に加わります。

日時: 10月17日(日) 14時～ 場所: カテドラル大名町教会

スケジュール

14:00 アベイヤ司教 講話「シノドスについて」 14:45 シノドス開幕ミサ 司式 ヨゼフ・アベイヤ司教

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、人数制限(120人)があります。

※開幕ミサは配信されます。詳細は

福岡教区ホームページ http://fukuoka.catholic.jp/ または右記QRコードよりご確認ください。



平日にも みことばの配達

～普段着のあなたへ～

教区公式YouTubeチャンネルで第2・4水曜日にみことば(聖書)と黙想のヒントを配信。各回約10分。

視聴方法

福岡教区ホームページ内の特設サイトから、視聴したいタイトルをクリックする。

特設サイト http://fukuoka.catholic.jp/dedicated/mikotoba



11月3日(水・祝) カリタスジャパン全国セミナー開催 「コロナ禍と私たち-叫びの中からともに見出す希望-」

第1部 報告会「コロナ禍から見えてきた「叫び」」 10:00～12:30 第2部 討論会「「叫び」の中からともに見出す希望」 13:30～16:00 ※オンライン(ZOOM)開催 第1部、第2部を通して、入退室自由。 ※第1部では、福岡教区からの発表もありますので、ぜひ、ご参加下さい。

※参加申込方法: 右記QRコード または https://forms.gle/ZiCWyEsv3rA9hPQv8 よりお申込みください。 ☎ 03 5632 4439 カリタスジャパン事務局



「神学院祭2021」のお知らせ

日時: 11月3日(水・祝) 昨年同様、YouTube生配信での開催となります。

内容: 詳細は「神学院祭2021」で検索ください。

テーマ: 「ヨセフの心で～私はここにおります～」 詳細: 後日教区HPでもお知らせいたします。



一お詫びと訂正一 福岡教区ハンドブック2021 P.108 福岡教区司祭役務

司祭評議会・司教指名の評議員 大山 悟 神父(カトリック福岡神学院、サン・スルピス会)上記の記載漏れがございました。深くお詫び申し上げます。

一お詫びと訂正一 教区報8月号

4面 世界難民移住移動者の日 技能実習生のこと ×岩本光弘(黒崎教会) → ○岩本光弘(水巻教会) ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp E-mail: cdf-kouhou@nifty.com



案内板

会合と催し

10月のこよみ

第41回日本カトリック正義と平和全国大会 2021大阪大会

すべてのいのちを守ろう ～誰も置き去りにしない世界に向けて～ No one will be left behind

日時 11月22日(月)・23日(火・祝日)

会場 大阪カテドラル聖マリア大聖堂他

今回の開催はオンライン形式となりました。

詳細は、大阪大会事務局までお問い合わせ

ください。 ☎ 06-6942-1784

E-メール jptaikai@osaka.catholic.jp

QRコード 右記



真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: 祈りの実り: イエス様と共に、 イエス様のように生きること

日時: 10月14日(木) 10時～15時

内容: 「福音を宣べ伝えた」イエスの模範に従う (マタイ4:24)

指導者: S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)

問合わせ先: 真命山諸宗教対話センター

次回: 11月11日(木)

ナインの母親を見て、憐れに思ったイエスと共に(ルカ7)

☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

Table with 2 columns: Date and Event/Feast. Includes events like '聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士' and '守護の天使'.

10月24日(日) 世界宣教の日(献金)

カトリック福岡教司区の「宣教司牧方針」 キリストの愛に駆り立てられて、人々と共に歩む教会

主の平和 これからの福岡教区の宣教司牧方針を決めるために、皆さんに一年前にアンケートをお願いいたしました。その結果がまとめられましたので、今度は皆さんにその内容を確認していただきたいと思ひます。各小教区、修道院、委員会、団体に「宣教司牧方針」と「アンケート」を配り、できるだけ多くの方々の意見をいただきたいと思ひています。

アンケートは個人的に回答することになっていますが、答える前に小教区委員会や他グループで話し合ってみても良いと思ひます。10月の司祭集会でも取り上げるようになっていきます。また、アンケート内容以外にも新しい提案があればそれもいただいて、宣教司牧方針を最終的にまとめたいと思ひます。

回答は各小教区でまとめて、また個人的にでも、教区本部事務局に送っていただければ幸いです。教区ホームページからもアンケート用紙は入手できます。その後はできれば、1月に正式に宣教司牧方針を発表して、それに基づいて教区の委員会を整理したいと思ひます。最終的に「宣教司牧方針」が正式に発表されたら、各小教区等でそれぞれの状況と事情に合わせて、何に取り組み、どのように宣教司牧方針を生かすかを考えていただくこととなります。

「宣教司牧方針・特設サイト」

http://fukuoka.catholic.jp/dedicated/2021pastoralplanning/ 右記: 特設サイト QRコード アンケート返信先: 福岡市中央区浄水通6-28 「カトリック福岡教司区本部事務局・広報室アンケート係」 アンケート不切: 11月21日(日)



福岡

子どもを亡くした親の会 「虹の会」(日時) 10月2日(土) 14時～16時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(茶菓子代) 子どもを亡くした関係のあるかたどなたでも。マスク着用のこと問合せ先 ☎090・1162・6895 柴田

師イエス祈り会 (日時) 10月8日(金) 10時～11時(場所) 高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7090・7

福岡召命を共に祈る会 (日時) 10月26日(火) 13時半

熊本

熊本地区召命を共に祈る会 (日時) 10月25日(月) 10時(場所) 手取教会(内容) 初ミサ(ジョン・ウオンチヨル大司教助任司祭) ※緊急事態宣言明けの条件付き(問合せ先) ☎0969・22・2758 本渡教会 浦川務神父

北九州

北九州召命を共に祈る会 (日時) 10月14日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) ミサ(司式・船津亮太神父)(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井

美野島司牧センター

降りてきてくださる神様とともに働きましょう。 ○ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週水曜日10時 ○ホームレス支援炊出し・夜回り 第1・3金曜日 調理 14時 夜回り20時から ○路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時(問合せ先) ☎092・431・1419 コース・マルセル神父

セコの会

セコの会 セコの会では、手芸などを制作し、バザー等で販売してその収益でフィリピンの貧しい人々を支援しています。当会では作品作りに参加して下さるボランティアを募集しています。(日時) 毎週水曜日10時30分～16時(場所) 福岡市南区塩原4丁目25 高木橋横の日本家屋(問合せ先) ☎090・7927・3636 永田

編集後記

世界宣教の月。教区事務局の広報担当は、私、前任、前任と、署名はなんと皆同じ「宣教」の守護聖人・幼きイエスの聖テレジアなのです。これは偶然?! 広報も宣教。今月も小テレジアの支えと尊い働きかけのおかげで校了出来ました。神のはからいは限りなく、生涯私はその中に生きる(W)

人との絆を大切に・ご葬儀のご相談は メモリーホール 薬院・油山・野芥・小田部・今宿 馬出・南福岡・大野城・飯塚 市民葬儀・法事相談センター 六本松店・赤坂店 福岡メモリーホール 0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422 TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115 聖マリアヘルスケアセンター 〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5 TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306 信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さんと一緒に働いてみませんか URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

福岡教区セクハラ対応窓口 セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談 セクシュアル・ハラスメント相談窓口 電話 080-2694-4182 受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00

キリスト教書籍・用品 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ! http://www.paulus.jp パウルスショップ メディアによる福音宣教のために... サンパウロ福岡宣教センター 10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930